

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ソラリス	ワークス	FHイージェントD	カヴァー	中学生
オプション		年齢	15	性別	女性
覚醒	死	衝動	闘争	初期侵食率	34 %
出自	資産家	経験	伝説	邂逅	保持

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1		0			1	行動値	4
感覚	1		0			1	(非装備時)	4
精神	2		0			2	戦闘移動	9
社会	4	1	0	3		8	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	10	
運転:			芸術:			知識:			情報:	6	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	1r	0	-5		
<響け、届け、未来へ>(シンフォニー)	交渉	8r+1				<3~5>侵蝕値+9、対象3人,C値-1,ダイス+5個、1シーン1回
<天恵の加護>(ラプソディア)	交渉	8r+1				<3+4>侵蝕値+6、単体,C値-1,ダイス+5個
<運命の打破>(ディパーチャー)	RC	2r+1				<6+8>侵蝕値+4、単体,HP回復(LV)D+【精神】状態異常全回復

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ:手配師	リボン				
コネ:要人への貸し					
コネ:情報屋					
コネ:噂好きの友人					
コネ:専門家					
コネ:情報収集チーム					
クレジットデータ					
カジュアル					
携帯電話					
アクセサリ					
青いバラを模したロケット		最大財産P:	36	残り財産P:	15

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費
月ノ宮 猛(つきのみや たける)	P 友情	N 不安		
<部下?>	P 尽力	N 恥辱		
<母親>	P 感謝	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
エンジェルヴォイス	3	4	メジャー	視界	単体	自動成功	-	
効果:	対象のC値-1(下限6)、ダイス+LV個							
声援	2	2	メジャー	視界	-	自動成功	-	
効果:	対象のメジャー時、ダイス+LV個							
風の渡し手	2	3	メジャー	-	LV+1	-	-	
効果:	対象をLV+1体に変更、1シーン1回							
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自身	自動成功	100%	
効果:	メジャーを2回行える。自身の判定のC値+1。1シナリオ1回							
癒しの水	2	2	メジャー	視界	-	自動成功	-	
効果:	対象のHPを(LV)D+【精神】回復。							
中和剤	1	2	メジャー	視界	-	自動成功	-	
効果:	対象の暴走以外の状態異常全回復							
奇跡の雫	1	6	オート	視界	単体	自動成功	100%	
効果:	対象の戦闘不能回復、HPを(LV)×5まで回復。自身を対象化不可。1シナリオ1回。							
元気の水	★	-	メジャー	至近	単体	自動成功	-	
効果:	栄養満点の水を作る							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「死」を経験したことで力に目覚めた。15歳の少女。その眼は何処か遠くを見つめているようで…
 青いバラを模したロケットをつけている。彼女自身も気に入ってるらしい
 青いバラの花言葉は…「夢かなう」「不可能」「奇跡」「神の祝福」
 そして…「attaining the impossible (不可能なことを成し遂げる)」

一対立も戦いも好きじゃないけど、何かを救う為なら「闘争」だって受け入れて、私も戦って見せる。そう思って生きてきた
 救うだなんてエゴ。結局は根本的に救う事なんて出来ないのに、それでも私は前に進まなくちゃ
 私が起因だとか、そういう事以前に、私は歩まなくちゃならないんだから。

一沢山の力を教わって、幾多もの時間を生きてきた。
 …まだ15じゃないかって？
 ううん、そういう事じゃないんだ。私の力が人を傷つけてしまってるらしいんだ。
 それは…許されないことなのかもしれないね…
 たとえ私がそれを理解できなかったとしても、私は「痛い」な。
 死んだことがあっても、その時感じた痛みよりもずっと。
 でもだからこそわかるんだ？目の前の人に死んでほしくないって一層強くな…
 偽善かな？でもそれでもいいんだ、助けられたって事実だけは、きっと残るから
 自己中心的な考え方かな…それでも私が犯したことに目を背けちゃいけない…と思うな
 だから、私は「奇跡」を起こしてでも助けてみせる。
 私の世界は一度は終わってしまったけれど、
 戦う事は嫌いだけど、
 未来のために、人のために戦えるなら私は、最後まで戦い抜いて見せる。